

17 私たちの取り組み



私たちの学校はユネスコスクールに加盟して活動しています。私たちにどんなことができるか、みんなで学習しています。



志賀高原ユネスコエコパークにある山ノ内町と高山村の小中学校は、そのすべてがユネスコスクールに加盟しています。ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校です。ESDは持続可能な社会をつくる担い手を育むための学習です。

山ノ内町の小中学校では自然体験活動のほか、地域学習に取り組んでいます。



ユネスコスクールプレート

東小学校

長野県内の小学校として最初にユネスコスクールに加盟した東小学校では、閉鎖したスキー場の森林再生を目的とした植樹活動「ABMORI」で植栽する苗を育てる「育苗プロジェクト」に取り組んでいます。志賀高原のドングリ（ミズナラ）から苗を育て、大きくなった苗をゲレンデ跡地に植樹します。6年間かけて学びます。



ドングリを植える

西小学校

地域の特産物であるリンゴの栽培や販売に取り組んでいます。子どもの「自分たちが育てたリンゴを外国から来るお客さんに売ってみたい」という希望から、駅前や地獄谷野猿公苑などでリンゴ販売が実現しました。訪日外国人観光客とコミュニケーションできる英語をALTから学びます。



訪日外国人観光客に対するリンゴ販売(西小学校)

南小学校

「町に点在する共同浴場」を取り上げた学級では、実際に共同浴場に入り、利用者にアンケートをとり学習を進めました。共同浴場が「話しやすく楽しい場所。人との関わりが生まれる場」になっていることや維持管理する難しさに気づきました。町の方々と意見交換もできました。



発表の後の町の方との話し合い

山ノ内中学校

1年生は「志賀高原研修旅行」や「地域自慢の旅」を通して町の魅力を“発見”し、2年生は「草津研修旅行」を通して、魅力の“比較”を行い、3年生では「修学旅行」「町づくり討論会」を行い、魅力の“発信”を行っています。

町づくり討論会では、自分たちが考えた提案について町の方々と討論します。修学旅行では町のPRにも取り組んでいます。

山ノ内中学校3年間のESD活動の歩み

山ノ内町の小中学校では、志賀高原ユネスコエコパークを中心に、ESD(Education for Sustainable Development):「持続可能な開発のための教育」を、系統的に取り組んでいます。

1学年

・志賀高原研修旅行
・地域自慢の旅
魅力の“発見”

3学年

・修学旅行
・町づくり討論会
魅力の“発信”

2学年

・草津研修旅行
魅力の“比較”

ESD 学習



町づくり討論会

中野西高等学校

志賀高原でESD実践に取り組んでいるユネスコスクールです。中野西高等学校では「ESD 倶楽部」を中心に、植樹活動「ABMORI」に植樹リーダーとして参画し、植樹後のモニタリング調査を行っています。また地域の市民団体が実施する湿原再生や外来植物除去などの活動に参加しています。



植樹リーダーとして参画

小学校では農薬を減らし安全なお米「雪白舞」を作り始めました。



町外にも出かけ学んでいます。自分たちにできることを見つけてやっていきたいな。

